

2016年中堅・中小企業におけるサーバ管理のツールやソリューションに関する調査

調査設計/分析/執筆: 岩上由高

ノークリサーチ (本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705 : 代表: 伊嶋謙二 TEL: 03-5244-6691
URL: <http://www.norkresearch.co.jp>) は中堅・中小企業におけるサーバ管理のツールやソリューションに関する調査を実施した。
本リリースは「2016年版 中堅・中小企業におけるサーバ調達先選定の動向予測レポート」のサンプル/ダイジェストである。

<サーバ管理のツール/ソリューションはサーバの形態や調達先によって異なってくる>

- サーバ管理を担うツールやソリューションはサーバを提案/販売する側の重要な付加価値
- 「サーバ仮想化の最適構成の提示」は「サービス」よりも、「ツール」で提供した方が効果的
- 「自社のサーバルームに設置」では不正アクセス対策や性能測定に対するニーズが高い

対象企業: 日本全国/全業種の年商500億円未満の中堅・中小企業

対象職責: 「企業経営もしくはITの導入/選定/運用作業」かつ「サーバの導入/管理の意思決定または実作業」に関わる職責

調査実施時期: 2016年5月中旬

有効回答件数: 328件

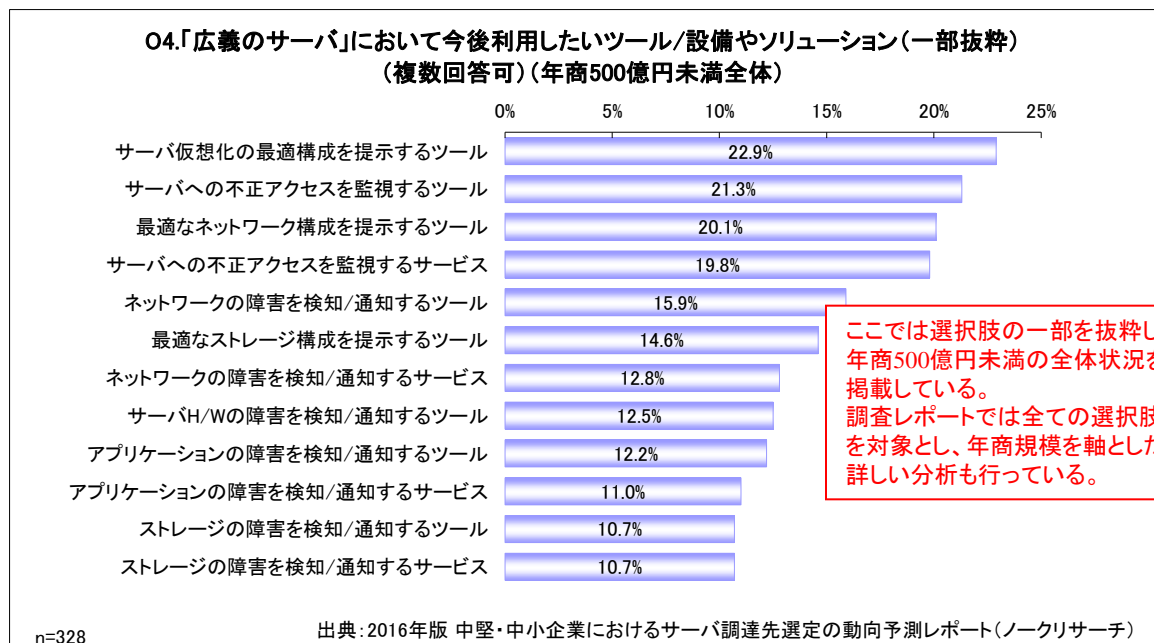
※調査対象の詳しい情報については右記URLを参照 http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2016server_usr_rep3.pdf

サーバ管理を担うツールやソリューションはサーバを提案/販売する側の重要な付加価値

本リリースの元となる調査レポートでは、「広義のサーバ」における調達先について詳しい集計/分析を行っている。ここでの「調達先」とはサーバH/Wの購入先やIaaS/ホスティングの契約先などのサーバ販売におけるチャネルの役割を果たす販社/SIerを指す。「広義のサーバ」については右記のレポート案内を参照 http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2016server_usr_rep3.pdf)

広義のサーバ調達先となる販社/SIerにとっては、サーバ提案/販売においてどのような付加価値を提供するか?も重要な取り組み事項となってくる。そこで、年商500億円未満の中堅・中小企業に対し、オンプレミスとクラウドの双方を含む広義のサーバ環境において、サーバ管理に関連して今後利用したいと考えるツール/設備またはソリューションを尋ねた結果の一部を抜粋したものが以下のグラフである。

「ツール/設備」とはユーザ企業が自ら作業を行ってサーバ活用に役立てるソフトウェアや場所(検証センターなど)の提供を指す。「ソリューション」とは調達先を通じてユーザ企業が依頼し、実作業を販社/SIerが担うサーバ活用支援を指す。次頁以降ではこうしたツールやソリューションの活用意向に関する調査結果の一部をサンプル/ダイジェストとして紹介している。



「サーバ仮想化の最適構成の提示」は「サービス」よりも、「ツール」で提供した方が効果的

オンプレミスとクラウドの双方を含む広義のサーバ環境を管理するために必要となるツールやソリューションは多岐に渡る。仮想化の最適構成や不正アクセス監視といったサーバそのものを対象としたものだけでなく、アプリケーション、ストレージ、ネットワークにおける障害の検知/通知といった周辺のシステム要素もカバーする必要がある。

そのため、本リリースの元となる調査レポートでは22項目に渡る選択肢を設け、上記のような様々な関連から見た時に「どのようなツールまたはソリューション(サービス)が必要とされているのか？」を尋ね、その結果を集計/分析している。

22項目の選択肢のうち、代表的なものは以下の通りである。

<<ツール/設備>>

- サーバ仮想化の最適構成を提示するツール
- サーバH/Wの障害を検知/通知するツール
- アプリケーションの障害を検知/通知するツール
- サーバ処理のボトルネックを特定するツール
- サーバH/Wの検証を行うテスト機の貸与
- ※ここではその他の選択肢は省略

<<ソリューション>>

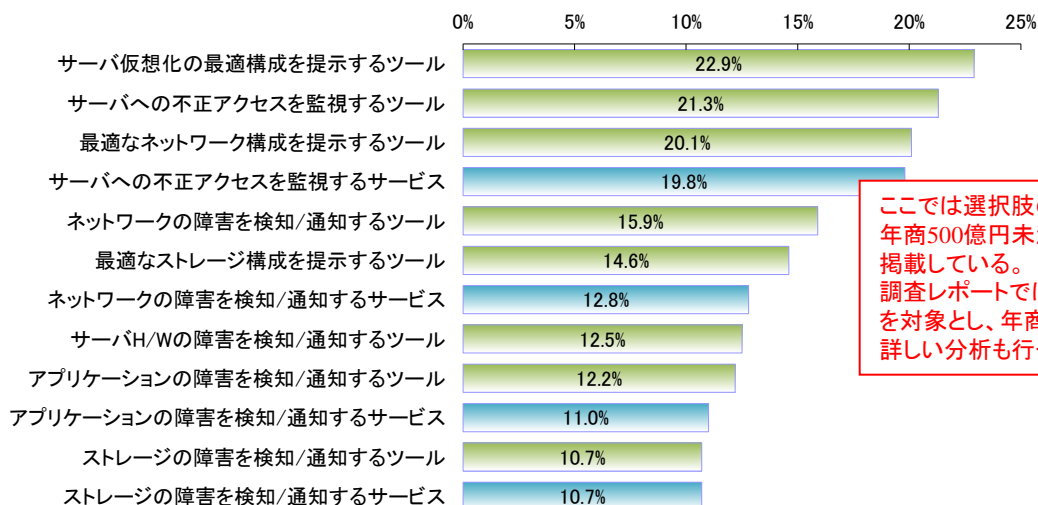
- サーバ仮想化の最適構成を助言するサービス
- サーバH/Wの障害を検知/通知するサービス
- アプリケーションの障害を検知/通知するサービス
- サーバ処理のボトルネックを特定するサービス
- サーバH/Wの検証作業サービス
- オンプレミス/クラウド間の移行サービス
- ※ここではその他の選択肢は省略

集計/分析の一部を以下で見てみることにする。以下のグラフは冒頭に掲載したものを「ツール/設備」は緑色、「ソリューション」(サービス)は青色として色分けしたものだ。

ツール/設備では「サーバ仮想化の最適構成を提示するツール」「サーバへの不正アクセスを監視するツール」「最適なネットワーク構成を提示するツール」といった項目の回答割合が比較的高い。一方、ソリューションで最も多く挙げられているのは「サーバへの不正アクセスを監視するサービス」である。それ以外の項目ではツール/設備とソリューションのいずれも障害の検知/通知に関連した項目が多い。「サーバ仮想化の最適構成を助言するサービス」はグラフから割愛されているが、最下部の10.7%よりもさらに低い回答割合となっている。

つまり、ユーザ企業が自ら利用するツール/設備では販社、Sierが実作業を担うソリューション(サービス)と比べて「システムの最適な構成を提示するツール」に対するニーズが相対的に高いことがわかる。また、設備/ツールとソリューションのいずれにおいても、「サーバへの不正アクセスを監視する」の回答割合が高い点にも注意する必要がある。

04.「広義のサーバ」において今後利用したいツール/設備やソリューション(一部抜粋) (複数回答可)(年商500億円未満全体)



ここでは選択肢の一部を抜粋し、年商500億円未満の全体状況を掲載している。調査レポートでは全ての選択肢を対象とし、年商規模を軸とした詳しい分析も行っている。

n=328

出典: 2016年版 中堅・中小企業におけるサーバ調達先選定の動向予測レポート(ノックリサーチ)

「自社のサーバールームに設置」では不正アクセス対策や性能測定に対するニーズが高い

前頁の結果はオンプレミスとクラウドの双方を含む広義のサーバ環境を管理するために必要となるツールやソリューションを尋ねたものだが、対象となるサーバ環境が「オンプレミスか？クラウドか？」によっても、当然ながら求められるツールやソリューションは変わってくる。

本リリースの元となる調査レポートでは「広義のサーバ」に該当するサーバ形態を以下のように定め、それぞれの形態によってサーバ管理において求められるツールやソリューションがどのように変わってくるか？についても詳しい集計/分析を行っている。

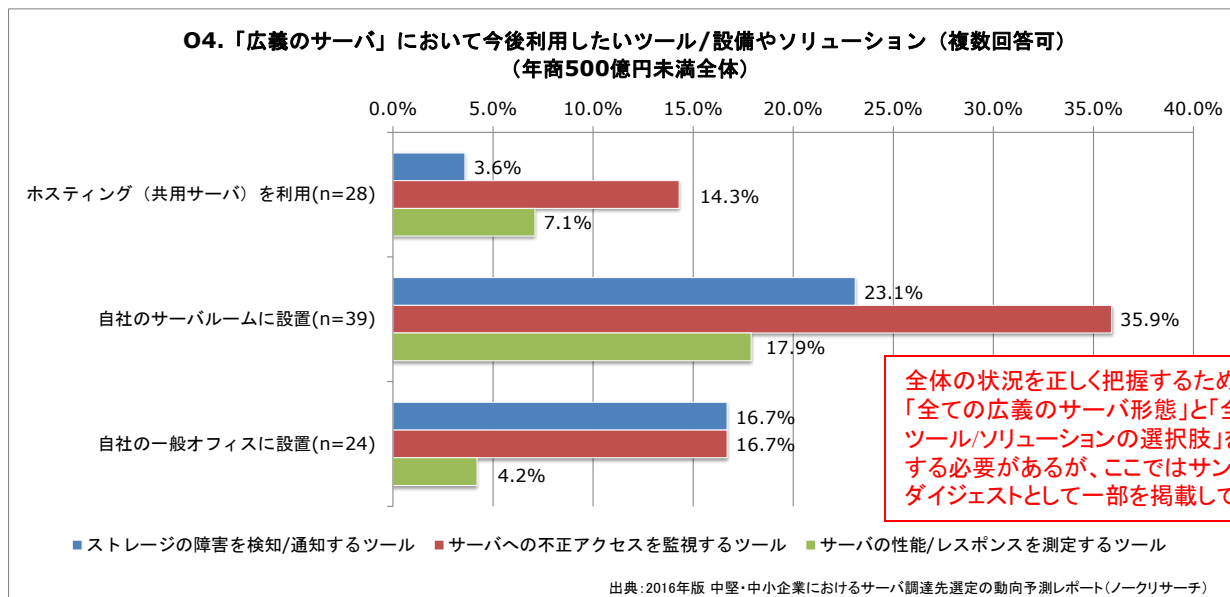
「クラウド」に該当する『広義のサーバ』の形態：

- ・ホスティング(共用サーバ)を利用
- ・ホスティング(VPS)を利用
- ・ホスティング(専用サーバ)を利用
- ・IaaS(仮想マシン)を利用
- ・IaaS(ベアメタル)を利用

「オンプレミス」に該当する『広義のサーバ』の形態：

- ・自社のサーバールームに設置
- ・自社の一般オフィスに設置
- ・ハウジングを利用

以下のグラフは上記に列挙された広義のサーバ形態のうち、「ホスティング(共用サーバを利用)」「自社のサーバールームに設置」「自社の一般オフィスに設置」の3つの形態を選び、前頁に挙げたツールやソリューションの選択肢から「ストレージの障害を検知/通知するツール」「サーバへの不正アクセスを監視するツール」「サーバの性能/レスポンスを測定するツール」の3つの利用意向をプロットしたものである。(全体の状況を正しく把握するためには「全ての広義のサーバ形態」と「全てのツールやソリューションの選択肢」を俯瞰する必要があるが、ここではサンプル/ダイジェストとして一部のデータを紹介する)



自社内にサーバを設置する形態ではサーバと接続するストレージ機器も自らの管理対象となる。そのため、ホスティング(共用サーバ)と比べてストレージ障害の検知/通知に対するニーズが高いことがわかる。ただし、同じ自社内設置の形態でも、「自社のサーバールームに設置」は「自社の一般オフィスに設置」と比べて不正アクセス監視や性能/レスポンスの測定に対するニーズが高い。これらのツールの販売/提案に取り組むベンダや販社/SIerとしては「自社のサーバールームに設置」という広義のサーバ形態を選択しているユーザ企業が優先度の高い訴求先になると考えられる。また、調査レポートではサーバの調達先(ベンダ系列 or 独立系、H/W販売主体 or システム開発主体など)によって、ユーザ企業が求めるツールやソリューションにどのような違いが生じるか？についても集計/分析を行っている。

調査レポート最新刊のご案内

「2016年版 中堅・中小企業におけるサーバ調達先選定の動向予測レポート」

本リリースの元となる調査レポート最新刊。

サーバ調達先を変更する予定の中堅・中小企業は3割超、顧客の喪失を防ぐためには何が必要なのか？

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2016server_usr_rep3.pdf

発刊日 2016年6月6日 価格:180,000円(税別)

その他、ご好評いただいている2016年の最新刊レポート

サーバ関連姉妹編レポート 各冊180,000円(税別)

以下の姉妹編レポートと本レポートを2冊同時購入の場合は240,000円(税別)、3冊同時購入の場合は380,000円(税別)

「2016年版 中堅・中小企業におけるサーバ/IaaS導入の動向予測レポート」

「今後の新規導入予定ではオンプレミスが減少する一方でクラウドが増加」、この変化にどう対応すべきか？

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2016server_usr_rep1.pdf

「2016年版 中堅・中小企業におけるサーバ仮想化活用の動向予測レポート」

「ハイパーコンバージドインフラ」は中堅・中小企業におけるサーバ仮想化活用を加速する決め手となるか？

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2016server_usr_rep2.pdf

「ノークリサーチ Quarterly Report 2016年冬版 特別編」

2016年の中堅・中小IT投資市場に影響を与える注目トピックを網羅した定点観測調査レポートの特別編集版

レポート案内: http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2016QRwin_rep.pdf

ダイジェスト(サンプル):

「Windows 10の活用意向」

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2016QRwin_rel_sp1.pdf

「マイナンバー制度への対応状況」

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2016QRwin_rel_sp2.pdf

「Office製品の新しい販売形態」

http://www.norkresearch.co.jp/pdf/2016QRwin_rel_sp4.pdf

価格:180,000円(税別)

お申込み方法:

ホームページ(<http://www.norkresearch.co.jp>)から、またはinform@norkresearch.co.jp宛にメールにてご連絡ください

カスタムリサーチのご案内

「カスタムリサーチ」はクライアント企業様個別に設計・実施される調査とコンサルティングです。

1. 調査企画提案書の提示:

初回ヒアリングに基づき、調査実施要綱(調査対象とスケジュール、費用など)をご提案させていただきます

2. 調査設計:

調査企画提案に基づき、具体的な調査方法の選定、調査票の設計/作成やインタビュー取材計画立案を行う

3. 実施と集計:

設計された調査を実施し、その結果を集計する

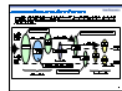
4. 分析:

集計結果を分析し、レポートを作成する

5. 提言:

分析結果を基にした提言事項を作成し、報告する

多彩な調査方法が活用できます。



定量調査(アンケート調査)

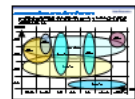
ユーザ企業の実態とニーズを数値的に把握したい
販社やSIerが望む製品やサービスの動向を知りたい

定性調査(インタビュー調査)

ユーザ企業が抱える課題を個別に詳しく訊きたい
販社やSIerがベンダに何を期待しているかを訊きたい

デスクトップリサーチ

競合他社の動向などを一通り調べたい



本データの無断引用・転載を禁じます。引用・転載をご希望の場合は下記をご参照の上、担当窓口にお問い合わせください。

引用・転載のポリシー: <http://www.norkresearch.co.jp/policy/index.html>

当調査データに関するお問い合わせ

株式会社 ノークリサーチ 担当: 岩上 由高
東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705
TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692
inform@norkresearch.co.jp
www.norkresearch.co.jp

NORKRESEARCH